

学校経営推進費 評価報告書（1年め）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立八尾高等学校 全日制の課程
取り組む課題	生徒の希望する進路の実現
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 進路実現満足度の向上：30ポイント以上向上させ3年後に70%（平成29年度41%） ◆ 国公立大進学者数増加：現役国公立大学進学者数を3年後に倍増（平成29年度36人） ◆ 進路指導満足度の向上：大学入学者選抜改革への対応強化で3年後に90%（平成29年度76%） ◆ 生徒の授業満足度向上：ICT活用のAL充実等の取組強化で3年後に平均3.3（平成29年度3.16）
計画名	3年後に「サクラサク」 八尾高伸び率最大化プロジェクト

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>1 「夢と志を語る力」の育成</p> <p>(1) 系統的進路指導（なりたい自分から逆算する指導／大学入試改革への対応） ⇒ 進路指導満足度 H29 年度 76% を令和 2 年度には 90%</p> <p>(5) 進路実現満足度の向上 ⇒ H29 年度 41% を令和 2 年度には 70%／その結果、国公立大現役進学者数 H29 年度 36 を令和 2 年度には 100</p> <p>2 「努力し続ける力」の育成</p> <p>(5) 「主体的・対話的で深い学び」を充実するための教育環境整備 ⇒ 1・2 年生普通教室全室への短焦点型プロジェクターの設置</p> <p>4 「チーム八尾」を支える教員力の向上</p> <p>(3) 授業力向上のための取組の充実 ⇒ 授業アンケート「授業満足度」H29 年度平均 3.16 を令和 2 年度には 3.5 に</p>
事業目標	<p>本校では平成 30 年度から 1, 2 年生全員に GTEC を受験させるなど大学入学者選抜改革への対応を進めている。また、新たな授業力向上方策や生徒の学習時間増加に向けた取組み、今後増加する国公立大学推薦入試対策等生徒の進路実現満足度向上に向けた準備も着実に進んでいる。</p> <p>このタイミングで、2 年生のホームルーム教室へのプロジェクターの設置を行う。このことにより、生徒の授業満足度はもちろん進路指導に関する満足度も向上させ、本校生徒の多くが希望する国公立大学への進学者を大幅に増加させること（伸び率の最大化）を目標とする。</p>
整備した 設備・物品 (数量)	「2 年生ホームルームの ICT 環境整備」：短焦点型プロジェクター 8 台設置
取組みの 主担・実施者	<p>主担者：「希望進路実現 PT」（校長、教頭、首席、進路指導主事、学年主任、情報主担、若手教員若干名）</p> <p>実施者：1 年目：全教員の 5 割→2 年め：全教員の 7 割→3 年め：全教員</p>

<p>本年度の 取組内容</p>	<p>10月初旬に8台のプロジェクターを2年生の各ホームルーム教室に設置して以来、プロジェクターを活用した授業の実施時数が急激に増加した。結果として平成30年度中にプロジェクターを使った授業をした教員の数は前年度比倍増以上の52.7%に達した。これは平成30年度学校経営計画で「チーム八尾高を支える教員力の向上」の項目で定めていた目標数値である40%を大幅に上回る成果であった。同時に本事業の1年めの目標である実施者率（5割）もクリアした。</p> <p>また、授業満足度が3.16から3.2に向上した。課外学習時間が前年度比で10分間伸びたことや、進学講習等参加講座数平均が3講座以上増えてはじめて10講座以上になったことも、プロジェクター設置による授業改善により、生徒の学習意欲に結びついたことが要因となっている。</p>
<p>成果の検証方法 と評価指標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 進路実現満足度 60%（平成29年度 41%） ◆ 国公立大学現役合格者数 60人以上（平成29年度 36人） ◆ 進路指導満足度[学校教育自己診断／生徒]82%以上（平成29年度 78.7%） ◆ 授業満足度（授業アンケート）3.2%以上（平成29年度 3.16）
<p>自己評価</p>	<p><進路実現満足度> 平成30年度実績は85.2%であり、本事業における最終目標である70%を初年度にして達成した……………（◎）</p> <p><国公立大学現役合格者数> 目標数値として挙げた60には達しなかったが、本校における国公立大学現役合格者数の最大値は57であり、平成30年度実績の53はそれに迫る数であった……………（○）</p> <p><進路指導満足度> 平成30年度の進路指導満足度は80.5%であり目標数値に達しなかった……………（△）</p> <p><授業満足度> 平成30年度の授業満足度は3.2であり目標数値をクリアすることができた……………（○）</p>
<p>次年度に向けて</p>	<p>進路実現満足度は最終目標を達成したので、次年度からの評価指標から外し、平成31年度学校経営計画の中で80%の維持を目標とする。</p> <p>本校における国公立大学現役合格者数の最大値は57であり、平成30年度の実績である51はそれに迫る数であったと考えている。昨年度実績を大幅に上回る国公立大学推薦合格者数を出した71期生（平成30年度卒業生）の進路指導を引き継ぎ、分掌としての進路指導部がイニシアティブをとって新たな改革に取り組む方向性を明確にした学校運営を進めさらなる合格者数増をめざしたい。そのためにも、先に挙げた進路実現満足度の高レベルでの維持は不可欠な要素になると考えている。</p> <p>進路指導満足度は平成29年度の76%から増加したものの目標数値には達しなかったというものであり、生徒に対するアプローチの不足が原因であったと考えられる。進路指導計画の練り直しや講習の形態の工夫、さらには、土曜日の自習室開放など生徒のニーズに沿った取組みの充実で目標達成をめざしたい。</p> <p>授業満足度については、3.3の目標にあと0.1と迫っている現状に鑑み、授業力向上研修などの工夫を重ねたい。</p>